

大河原 ロータリークラブ会報

2025～2026年度
国際ロータリーのテーマ

**UNITE
FOR
GOOD**

よいことの
ために
手を取りあおう

会 長：佐藤 能文 副会長：武者 昌洋
幹 事：中村 昭彦 副幹事：田中 史人

広報・IOC 委 員 長：岡崎 隆
副委員長：大橋 健男
委 員：岩間 範久
田村 久

2025～2026年度RI会長 フランシスコ・アレツォ
国際ロータリー第2520地区 加 藤 雄 彦
2025～2026年度ガバナー

例会日：毎週木曜日 12時30分 例会場：和洋亭ぶざん 柴田郡大河原町字新南 25-18 TEL 0224-51-1113

会長あいさつ

会 長 佐 藤 能 文

2026 年 3 月 5 日(木) 第2768回 例会



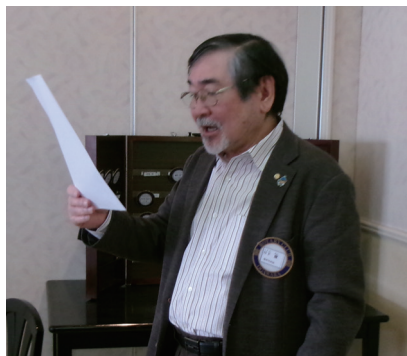
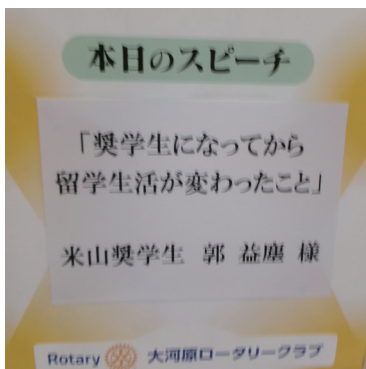
皆さんこんにちは、何かとお忙しい中、例会に出席頂きまして誠に有難う御座います。

それでは、3月最初の例会となりますので、3月誕生会員をご紹介させていただきます。9日 岡崎 隆 会員 25日 渡辺 和子 会員。誠におめでとう御座いました。続きまして3月結婚記念会員をご紹介致します。3日 佐藤 克美 会員 8日 櫻井 俊寛 会員 13日 高橋 英明 会員 15日 田村 久 会員です。誠におめでとう御座いました。

続いて、先日行われました第17回、ロータリーカップ少年サッカー大会報告をします。前日夜まで天候が悪く開催出来るか心配でしたが、2月28日と3月1日の2日間、山形県2チーム仙台市から4チーム合計16チームの参加で開催されました。4月から6年生になる今シーズン初めの腕試しとなる試合中のプレーは一生懸命で心に感動を与えて頂きました。結果は榴ヶ岡と大河原で決勝となり、大逆転で大河原が二連覇を達成致しました。

さて本日は、とっても笑顔が可愛い 米山奨学生 郭 益塵さんからスピーチを頂戴しますが、ほんの少しだけ米山記念奨学会についてお話しします。日本で学ぶ外国人留学生を対象とした、国内最大規模の民間奨学金団体です。単なる経済的支援にとどまらず、ロータリアンとの交流を重視する「心の通った奨学金」として知られています。日本のロータリーの創始者である米山梅吉氏の功績を記念して設立されました。国際理解と親善や平和への貢献に務めます。精神的サポート、日本文化の体験、例会へ月に一度の出席し近況報告して頂きます。そして他の奨学金と最も違う点は「カウンセラー制度」です。奨学生一人ひとりに「カウンセラー」と呼ばれるロータリー会員がつくことです。当クラブでは、津田政行 会員が郭 益塵さんを全面的にサポートして頂いております。この場をお借りして御礼申し上げます。それでは郭 益塵さん後程スピーチ宜しくお願いします。以上です。





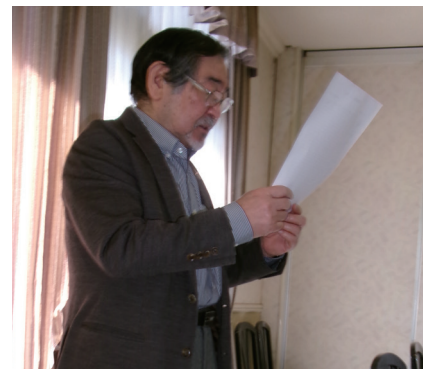
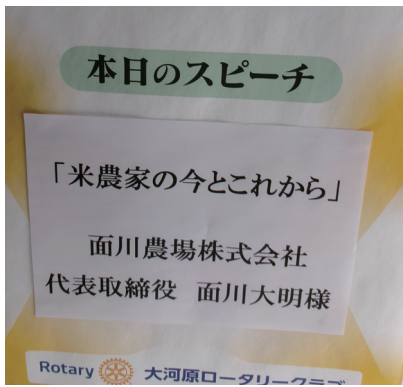
2026年3月12日(木) 第2769回 例会

皆さんこんにちは、年度末を控え、皆様お忙しい中、本日も例会に出席頂きまして誠に有難う御座います。3月に入り、日差しにもようやく春の気配が感じられるようになりました。ここ大河原でも、私たちの誇りである一目千本桜の開花が待ち遠しい季節になりました。

3月は、『水と衛生月間』でもあります。自分の職業奉仕が水道関連の仕事ですので日々大切さを実感しておりますが、私たちの生活に欠かせない水のように、ロータリーの活動もまた、地域社会にとってなくてはならない存在でありたいと思っております。

さて、本日は、面川農場株式会社 代表取締役 面川 大明さまからスピーチ頂きますが、農業も食をとおして、なくてはならない存在です。その中で、お米は、日本人にとって、単なる「主食」という枠を超えた、文化・経済・環境のすべてを支える「国の礎（いしずえ）」と言っても過言ではありません。日本の文化や言葉の多くは、稲作を中心に発展してまいりました。ご飯を食べる が、食事全般を指すように、お米は生命そのものの象徴です。自分も、お米が大好きです。理想的な栄養バランス、おかずとの相性が良いだけでなく、水田は、一時的に雨水を貯める緑のダムとして機能し、周辺の気温を下げる天然エアコンの働きもあり、ドジョウ、カエル、トンボなど、多くの生き物の棲み処となり、豊かな生態系を維持しています。お米は素晴らしいですね

面川農場さまのスピーチを楽しみにしております
どうぞ本日も宜しくお願いします。



2026年3月19日(木) 第2770回 例会

皆さん こんにちは、年度末の何かとお忙しい中、本日も例会に出席頂きまして誠に有難う御座います。
最近100%出席しております。中村幹事の奥様のお母さまが永眠されお休みしております。心からご冥福を、お祈りいたします。

先日の14日に丸森町にてインターシティミーティングに行きまして。大井川鐵道株式会社 鳥塚社長の基調講演では、数々の私鉄赤字経営をユーモアなアイディアで改善した実績を面白可笑しくテンポ良く講演して頂きました。懇親会では、あぶくま荘に場所を移動し、丸森ロータリークラブのおもてなしが本当に素晴らしかったです。アトラクションもあり丸森観光大使の地元女性歌手「Tae (たえ)」さんの歌声を鑑賞できました。来年度は、白石ロータリークラブが担当します。

本日は、大河原警察署 駅前交番所長 小野 竜太さまからスピーチを頂きますが、駅前という「街の玄関口」にある交番は、地域住民だけでなく、観光客や通勤・通学客にとっても最も身近な安全の拠点です。街のコンシェルジュや犯罪の抑止力、緊急時の初動対応など多岐にわたります。困りごとを抱えた人が駆け込む「駆け込み寺」のような側面もあります。大切な仕事のお話もお聞きしたいのですが、明るく元気で笑顔が素晴らしい駅前交番小野所長のボランティア活動も活発で大河原町南小学校の放課後子供教室ではサッカーを教えて頂いたりしております。ボランティア活動の話など後程スピーチを宜しくお願い致します。

挨拶は、以上となります。



2026 年 3 月 26 日(木) 第2771回 例会

皆さん こんにちは、年度末の何かとお忙しい中、本日も例会に出席頂きまして誠に有難う御座います。

一目千本桜の桜祭も 4 月 3 日から開催され大河原町も一年で一番輝かしい季節が目前となりました。本日は、大河原町商工観光課 佐藤 朗博 課長より、スピーチを頂戴いたしますが、この時期、私たちが思い起こすべきは、やはり大正時代に 1,000 本もの桜を寄贈された高山開治郎 氏の存在です。当時、東京で成功を収められた高山氏が、故郷・大河原の堤防に桜を植えようと決意された背景には、並々ならぬ郷土愛があったことでしょう。

高山氏が植えた一本一本の苗木が、100 年以上の時を経て今や日本を代表する景観となり、多くの人々に感動を与えています。これはまさに、ロータリーが掲げる『奉仕の精神』の究極の形ではないでしょうか。

『自分が直接その恩恵に預かるためではなく、次世代、そしてその先の世代の笑顔のために種をまく』。

私たちロータリアンも、目先の成果だけにとらわれず、100 年後の大河原がより豊かであるために、今何ができるかを共に考えて活動してまいりましょう。本日もよろしくお願いいたします。



本日のスピーチ

「高山開治郎
生誕 150 年にあたって」

大河原町商工観光課
課長 佐藤 朗博 様



